

Human documentary
film festival abeno



ヒューマン ドキュメンタリー映画祭 《阿倍野》2017

6月24日(土)・25日(日)

【会場】阿倍野区民センター 大ホール

TEL 06-4398-9877 地下鉄谷町線「阿倍野」6番出口すぐ

「ありがとう…」

入 場 料

1日券 2500円 (前売 2000円)
(当日何度でも再入場ができます)

2日券 3500円 (前売 3000円)
(2日間何度でも再入場ができます)

小学生以下無料。
学生、障がいのある方、60歳以上の方は
前売料金で入場できます。

チケット予約／問合せ

ヒューマンDFプロジェクト

大阪事務局／〒540-0037 大阪市中央区内平野町2-1-2 アイエスビル 4D
TEL : 080-6180-1542 FAX : 06-6945-1177

東京事務局／〒150-0002 東京都渋谷区渋谷1-3-7 青山N-ブリックビル3階 (いせフィルム内)
TEL : 03-3406-9455 FAX : 03-3406-9460

<http://hdff.jp/> E-mail : info@hdff.jp  [hdff_abeno](https://twitter.com/hdff_abeno)  [hdff.jp](https://www.facebook.com/hdff.jp)

● 当日、このチラシを受付へお持ちください。ご同伴の方も前売料金でご入場いただけます。



ヒューマンドキュメンタリー映画祭《阿倍野》2017



「うたごころ (2012年版)」(112分)
 榛葉 健 監督

東日本大震災で、親族5人と自宅を津波で失った女子高校生と家族、友達が、歌を通して、人生を取り戻していく姿を描いたシリーズドキュメントの秀作。公開中の2作品とも《阿倍野》で初上映し、全国海外へと拡散。今年中国での上映も成功させ、凱旋上映となる。



「夜明け前の子どもたち」(120分)
 柳澤 寿男 監督

「この子らを世の光に」を提唱した故糸賀一雄氏のもとに製作された、日本の福祉ドキュメンタリーの原点、とも言われる映画。舞台は重症心身障害児施設「びわこ学園」、医療と療育が一体化した取り組みを記録、日々の生活の中に発達の芽があることを描き切った、今こそ観られるべき作品である。



「奈緒ちゃん」(98分)
 伊勢 真一 監督

てんかんと知的障がいをもつ少女・奈緒ちゃんの、8歳から成人式までの12年間を追ったヒューマンドキュメンタリー。監督の姪っ子にあたる奈緒ちゃんと、その家族の日常を、ただ静かに見つめ続け、映画は「しあわせ」について問いかけてます。



「シバ 縄文犬のゆめ」(99分)
 伊勢 真一 監督

「柴犬」の先祖は日本犬の中で最も古くから我が国に生息したと言われる。天然記念物柴犬保存会のリーダー照井光夫さんとその仲間たちが、縄文犬と呼ばれることもある「柴犬」と共に生きる姿を追った人と犬との愛情物語。まるでファンタジーのようなドキュメンタリー。



「花はんめ」(100分)
 金 聖雄 監督

戦争という歴史に翻弄されながら、日本で生きてきた在日1世たち。80歳を過ぎて手に入れたなんでもない日常を、かけがえない仲間とともに生きるハンメ(おばあちゃん)たちに4年間寄り添ったヒューマンドキュメンタリー。置き去りにした「青春」を取り戻す姿を描いた。



「やさしくなあと」
 ~奈緒ちゃんと家族の35年~ (仮題) 未完成版
 伊勢 真一 監督

「長くは生きられない…」と言われた、障がいのある姪っ子「奈緒ちゃん」とその家族の日々を、伊勢監督が見つめ続けた35年の記録。「奈緒ちゃんが生まれたから、生きたから、たくさんのいのちが生きた。」奈緒ちゃんは44才、元気です！「奈緒ちゃん」「びぐれっと」「ありがとう」に続く、家族の物語。

【上映プログラム】それぞれ作品上映後に監督による挨拶があります

6/24(土)	6/25(日)
10:00~ 開会式 コンテスト最優秀賞作品上映 「羽包む」(2005)「学校を辞めます」(2008) 「軍属だったおじいちゃん」(2016)	10:00~ 「シバ 縄文犬のゆめ」(99分) 伊勢 真一 監督
12:00~ 「うたごころ (2012年版)」(112分) 榛葉 健 監督	12:30~ 「花はんめ」(100分) 金 聖雄 監督
15:00~ 「夜明け前の子どもたち」(120分) 柳澤 寿男 監督	15:00~ 「やさしくなあと」 ~奈緒ちゃんと家族の35年~ (仮題) 未完成版 伊勢 真一 監督
17:00~ ドキュメント・トーク 玉村 公二彦 (奈良教育大学教授) 西村 信子 (「奈緒ちゃん」のお母さん) 伊勢 真一 監督	17:00~ ドキュメント・トーク 金 聖雄 監督 榛葉 健 監督 伊勢 真一 監督 他
18:30~ 「奈緒ちゃん」(98分) 伊勢 真一 監督	18:00~ 閉会式

※上映スケジュール及び上映作品は変更になる場合がありますのでご了承ください。

「ありがとう」

限りある「いのち」を生きる…
 だからこそ、その「いのち」を精一杯生きよう…と。

「ヒューマンドキュメンタリー映画祭《阿倍野》」を始めて
 15年の歳月が流れました。

もしも、映画祭も生きものであるとしたら、
 私たちは「ヒューマンドキュメンタリー映画祭《阿倍野》」という「いのち」を
 精一杯生きたと思う。
 そして限りある「いのち」を、今年終えることとなります。

みんなに支えられ続けて来た私たちの「映画祭」は
 今年で幕を降ろします。
 お世話になりました。
 本当にありがとうございました。

出来れば理由は聞かないで欲しい。
 大切なことには、理由がないのだ。
 映画が好きになったり、人を好きになったりすることに、
 いちいち理由が無いように。
 「ヒューマンドキュメンタリー映画祭《阿倍野》」は、今年で終了します。

そして、その最後の開催日は
 いつもの夏の終わりではなく、
 6月24日(土)と25日(日)の二日間、
 いつもの阿倍野区民センターでやることにしました。

支えてくださったみなさんに
 「ありがとう」の気持ちで
 15年目の「ヒューマンドキュメンタリー映画祭《阿倍野》」を
 開催したいと思います。

笑顔で集まりましょう。
 そしておいに別れを惜しみましょう。
 祈再会。

ヒューマンドキュメンタリー映画祭《阿倍野》
 総合プロデューサー 伊勢 真一

● 当映画祭へ、ハガキまたはメールであなたのメッセージをお寄せください。
 E-mail : info@hdff.jp